



令和8年2月
あおぞらっこ保育園
看護師 松浦

1月はインフルエンザではありませんでしたが、風邪が蔓延し全園児の半分が登園出来ないという状態に一時なりました。私自身の印象としては、新型コロナウィルス感染症が第5類に分類されるようになってから、感染症予防の意識が薄れてきていると感じています。

いまいちど感染予防について考えてみましょう。

帰宅後、食事やおやつの前の手洗いの習慣はついていますか？

もちろんどこまでが真実かわかりませんが、たまに園児に聞くと「やっていない…」という返事も聞かれます。保育園という集団生活をしています。どうしても食事中は会話をします。低年齢の園児はおもちゃを口に入れてしまいます。月齢・成長過程の中で、くしゃみ・咳も手で押さえない、押さえられない園児もいます。そのような環境…どうでしょうか？感染症はあつという間に広がってしまいます。1人1人が予防することで家庭内、それぞれのお子さん、保育園内での感染蔓延を食い止められます。感染予防について、ご家庭でも確認して習慣づけていきましょう。家庭での生活が保育園での生活にもあらわれます。



手洗い



0歳児 手をふいてもらう

離乳食が始まったら、「きれいにしようね」と声をかけながら、食事やミルクの前は必ず手をふきます。



2歳児 自分で洗えるようになる

自分で水を出し、せっけんをつけて大まかに洗い、流し、ふくことができますが、きちんと洗うためには、見守りと声かけが必要です。

1歳児 手を洗ってもらう

「ごはんだから手を洗おう」と声をかけて手洗いに誘います。大人がせっけんをつけてていねいに洗い、ふいてあげましょう。



3歳児 しっかり洗える

「手を洗おう」と声をかければ、自分で正しい洗い方ができますが、洗った後のチェックは必要です。



このように手洗いだけではありませんが、ある日突然できるようになるのではありません。

ご家庭での声かけ、習慣や経験の積み重ねができるようになっていきます。

「子は親の鏡」保育園で働くようになって、とても感じている言葉です。